2014年5月2日

各　　位

会　社　名　みらかホールディングス株式会社
代 表 者 名　代表執行役社長　鈴木　博正
コード番号　４５４４　東証第１部
問 合 せ 先　ＩＲ広報グループ
電 話 番 号　０３－５９０９－３３３７

第4次中期経営計画（2014-2017年度）策定のお知らせ

当社（本社：東京、社長：鈴木 博正）は、このたび、2017年度（2018年3月期）を最終年度とする当社グループ（以下「みらかグループ」といいます。）の第4次中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

Ⅰ.みらかグループの長期ビジョン

当社は、2010年度から2013年度までの4年間、第3次中期計画の推進に取り組み、その最終年度である2013年度に連結売上高2,033億円（2009年度から36.4%増加）および同営業利益267億円（同34.9%増加）を計上し、所期の数値目標を達成いたしました。

臨床検査業界は、国内市場の成長鈍化とグローバル化の進展から、一段と厳しい競争の時期を迎えております。このような環境の中、当社は、国内外での競争力を一層高めるとともに、海外における事業の成長を加速すべく、目指すべき10年後の姿を新たに設定いたしました。

みらかグループが目指す10年後の姿

- 連結売上高：5,000億円程度
- 海外売上比率：約50%

上記10年後の姿は、各事業のオーガニックな成長とM&Aによって実現することを前提としております。当社は、このたび策定した第4次中期経営計画を、かかる10年後の姿への成長を可能とするための基盤構築のフェーズと位置付けており、オーガニックな成長を前提として、①競争による事業拡大、②新しい製品・サービスの創出および③グローバル市場への本格参入を基本的な成長戦略の柱として取組む方針です。

Ⅱ.第4次中期計画について

第4次中期計画の概要は以下のとおりです。

1. 2017年度の数値目標（連結）

単位：億円 （単位未満四捨五入）	2013年度**実績** （2014年3月期）	2017年度**目標** （2018年3月期）	成長率 （対2013年度、%）
売上高	2,034	2,460	21.0%
臨床検査薬事業	435	531	22.2%
受託臨床検査事業	1,319	1,604	21.6%
ヘルスケア関連事業	280	325	16.0%
営業利益	267	340	27.2%
一株当たり当期純利益（円）	261	328	

2. 各事業別の基本戦略

(1)臨床検査薬事業

①ルミパルス製品の地理的拡大

既に参入済みの欧州およびアジア市場において、ビタミンD等の差別化項目によりルミパルス製品の市場開拓を加速するとともに、最大市場である米国への早期参入を目指します。これにより海外ルミパルス事業の早期の収益化を目指します。

②グローバル事業体制の構築

マネジメント、オペレーション（購買、生産、物流）および研究開発の各分野において、グローバル体制で推進する仕組みを構築し、持続的な成長の基盤を整備してまいります。

③ルミパルス製品の国内シェア拡大

国内においては、ルミパルス試薬ラインナップのさらなる拡充を進めるとともに、シェア拡大のための販売活動を強化してまいります。

④新規事業開発

免疫外領域への参入を見据え、新規領域に関する事業開発を強化するとともに、既存製品については市場のニーズを適切に見極め、選択と集中を進めてまいります。

(2)受託臨床検査事業

①国内開業医市場の獲得

販売体制の強化およびラボ機能の戦略的再編（地域分散化）により、顧客ニーズに合った検査サービスを提供し、これにより開業医市場でのシェア拡大を図ってまいります。

②次世代システムの導入による競争力強化

次世代システム（2015年度本格稼動予定）の導入により、集荷・検体受付業務を効率

化するとともに、検査の標準化、報告スピードの改善およびトレーサビリティの強化を実現し、顧客である医療機関の利便性を高めてまいります。

③新たな検査サービスの開発

コンパニオン診断関連検査、ゲノム解析など先端的な検査サービスを他社に先駆けて導入することに努めます。また、新しい検査サービスによる事業開発の機会を積極的に探索いたします。

④海外事業の成長

米国Miraca Life Sciences社においては、規模拡大よる競争力の強化とコスト構造の改善を並行して進め、これにより米国における病理専門ラボとしてトップの地位の確立を目指します。また、新興国においては、国内および米国で培ったノウハウをもとにアジア市場に本格参入し、受託臨床検査事業の地理的拡大を進めてまいります。

(3)ヘルスケア関連事業

滅菌事業においては、地理的拡大に努めるとともに、周辺サービスラインナップの拡充によりさらなる売上成長を目指します。また、治験事業においては、国内販売活動を強化しシェア拡大を図るとともに、国際共同治験の獲得および新規市場の発掘に注力いたします。

(4)M&A戦略

前中期に引き続き、M&Aを中長期的な成長のための重要施策として位置付けてまいります。健全な財務体質を維持しつつ、各事業の成長と収益力の強化により生み出されるキャッシュフローを、競争力強化と成長のためのM&Aに活用してまいります。

(5)積極的な株主還元

将来の経営環境の変化とM&A・研究開発など将来の成長機会への投資に備え、必要な内部留保を充実させながら、配当を中心に株主のみなさまに積極的な利益還元を図っていくことを目標としております。「継続かつ安定的な増配を行う」との基本方針に基づき、30%を超える連結配当性向を今後も継続してまいります。

以　上